

分科会 H | 【女性が輝けば地域も輝く】
講演、グループワーク

わたしが元気に活躍する地域づくり

■日時：11月14日(土) 10:00~11:30



<講師>

川北 秀人

IIHOE

「人と組織と地球のための国際研究所」代表

<コーディネーター>

岡本 一美

日本福祉大学非常勤講師

<パネリスト>

國見 佳代子 地域プロデューサー／office_923代表

神谷 美砂 安城市町内会長

報告要旨

報告者：岡本 一美（コーディネーター）

男女共同参画推進による「持続可能なまちづくり」を実践するヒントを得よう！

1. 取り組む課題

全国の地縁型組織では、参加率の低下や役員の担い手不足を抱え、持続可能性が危うい。にもかかわらず、国策「地域共生社会」は、自助互助に期待した「地域づくり」に依拠しており、このままでは次世代への重い負担がさらに大きくなる。

2. 目的

男女共同参画推進による持続可能性の拡充が期待される地縁型組織や住民自治を視野に、女性役員など地域における女性の活躍により、地域課題解決や事業型へ進化した取り組みを学び、それぞれの地域づくりに活かすことのできる具体策を得る。

3. 本大会概要

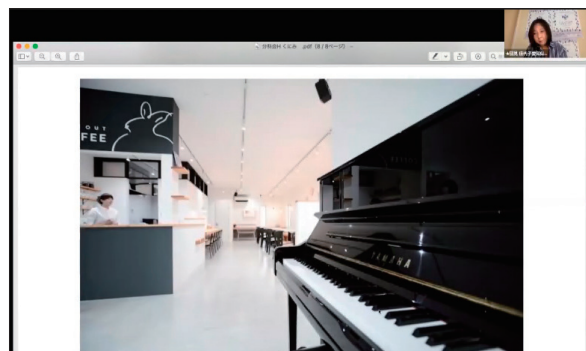
(1) 事例報告

地域プロデューサー 國見 佳代子氏

新美南吉にちなんだ映画や安城七夕まつりにかかわるミュージカルのプロデュースをはじめ、カフェの運営など、まちを大切にしたい若者文化を育む取り組みを紹介。

安城市町内会長 神谷 美砂氏

長い地域活動の経験後に町内会長就任。福祉委員会の発足や防災の取り組みをはじめ、コロナ禍における「できる活動」への柔軟なシフトなどを紹介。



(2) ミニ講義 I IHOE代表 川北 秀人氏

持続可能な地域づくりを進めるための「小規模多機能自治」を、全国各地で提唱・推進している講師が、人口・世帯構成の「これまで」と「これから」をもとに、地域づくりの主役である前期高齢者（65歳から74歳）数の推移、自治会長や防災委員に占める女性の比率などを切り口に示しながら、今すぐにでも行うべき「行事・会議・組織の棚卸し」や「中学生以上全住民調査による1人1票制」を提案した。



(3) グループワーク

①感想、②わが地域の強みと課題、③今後の取り組みについて、14のブレイクアウトルームで意見交換

(4) 質疑とまとめ

- ・自治会の運営資金調達は？
⇒経営意識を
- ・若者を参画させるためには？
⇒自治会で中学生以上のアンケート調査を
- ・多様な人の参画で柔軟な運営、持続可能なまちづくりを

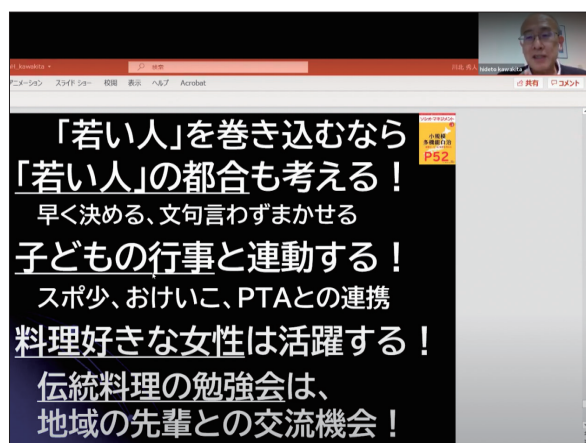
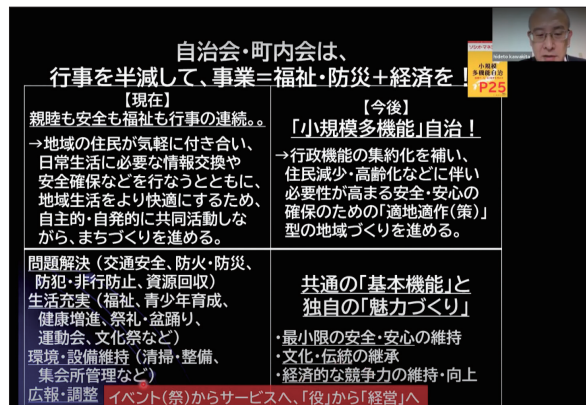
4. 成果 参加者の声

全国（北海道・石川・栃木・甲府・愛知・岐阜・滋賀・和歌山・奈良・岡山・鳥取・島根・福岡など）からの多様な属性（地域役員・行政・学生）の参加者が、それぞれの地域特性や課題を考え発言する機会となった。

- ・現状維持の町内会活動を変革するきっかけをつくりたい
- ・降雪地域なので、町内会費はイベントでなく除雪費用に使っている
- ・男性高齢者主導で、情報が届かない。雲南市の取り組みは素晴らしい
- ・下宿学生には、まちづくりへの参加のきっかけがない
- ・一人一票制に可能性を感じる
- ・若い人の参画を促すために、ITを活用したい
- ・「爺さんがダメにしている」その通りと思った
- ・人口分析から考えると、誰もが理解できると思う
- ・防災でまちづくりを推進、若者の希望でかまどベンチを購入し、楽しみながら訓練中
- ・はがき運動で住民みんなに届け意見を聞く。QRコードをつけると返信が増えるのではないかな
- ・地域の宝探しウォーキングで、地域愛をはぐくむ

5. 課題

講師や事例報告者の話をじっくり聞きたかったとの声が多く、全国でも同様に地縁型組織の運営に苦慮している実態が明確になった。「地域経営」をテーマに、継続した研修機会が必要である。



●企画メンバー

神谷 美砂 石川れい子 岡本 一美 加納多恵子 川本 道子 國見佳代子 早川 純子 船尾 恭代
森 紀代美